山口県知事　村岡嗣政　殿

令和３年９月１３日

市民政党「草の根」

代表　井原　勝介

盛土対策について（緊急要請）

　今年７月に熱海市で発生した土石流により、いわゆる「盛土」の崩壊の危険性を再認識させられました。また、盛土の中には、産業廃棄物の格好の捨場になっているところも多いと言われています。政府は先月関係省庁の連絡会議を設置し、全国の危険な盛土の実態を調査に乗り出しました。

　山口県でも先日、独自に一部盛土の調査が実施され、安全性の確認が行われたとのことですが、岩国市内では、現実に危険な盛土の存在が指摘され、地元住民から早急な安全対策を求める声があがっているにも拘わらず、何らの有効な対応がなされないままに放置されている例があります。

　地球温暖化の影響により災害の危険性は年々高まっており、盛土対策は急務となっています。よって、下記事項について、速やかに実施するよう緊急に要請します。

記

１．地域の危険な盛土の実態を把握し災害を未然に防止するために、より幅広い詳細な調査を改めて実施するとともに、その結果を公表すること。また、調査結果に基づき、必要な場合には緊急の安全対策を行うこと。

　なお、調査に当たっては、危険性に関する判断基準を明確にするとともに、地元住民の声に十分配慮すること。

２．崩落や土石流の発生を防止するための安全対策、土壌や地下水の汚染防止措置、産業廃棄物の混入の有無のチェックその他盛土の危険防止のための必要な措置を盛り込んだ独自の規制条例を早期に制定すること。